

港区議会議員有志は訴えます。



「戦争はダメ!だれの子どもも殺させてはダメ!」(子育てママ)
「日本は法治国家であって人治国家ではないはず。憲法解釈を勝手に変えるなど、まるで独裁者のようで恐ろしい」(サラリーマン)
「私たちの世代が一番怒っていると思う」(女子大学生) …寄せられた声



多くの国民の反対の声、専門家からの違憲との批判を受けながら、安保関連法が強行成立されました。区議会でも区民等から出された廃案を求める請願が自民党・公明党により不採択とされています。しかし、廃止を求める声、政府の強硬姿勢への疑問は、成立後さらにそのつよさを増しています。戦後70年間、海外で戦争をしてこなかった日本の安保政策、外交政策を大きく転換させるこの安保法に、私たち港区議会議員有志は党派を超えて、反対のアクションを行ってきました。そして私たちはこれからも、みなさんとともに、民主主義をくつがえす強行採決に抗議し、立憲主義をこわす憲法違反の安保関連法の廃止を求めています。

立憲主義をこわし、憲法違反の 安保関連法は廃止に。



阿部浩子
(社民党)
3578-2938



玉木まこと
(街づくりミナト)
3578-2958



熊田ちづ子
(日本共産党)
3578-2945



大滝 実
(日本共産党)
3578-2945



風見利男
(日本共産党)
3578-2945



いのくま正一
(日本共産党)
3578-2945

安保関連法を廃止する港区議会議員有志連絡会